

Q_o 岡義博法律事務所報 第48号

高松市丸の内7番20号 丸の内ファイブビル5階
TEL (087) 821-1300
FAX (087) 821-1833
MAIL oka-law@kln.ne.jp
H P http://www.kln.ne.jp/oka-law/

北陸新幹線

北陸新幹線が3月14日に金沢まで開通した。これで東京から金沢まで1番速い新幹線(かがやき)だと2時間28分で行けるといふ。新聞やテレビでは大々的に取り上げ大騒ぎをしている。

北陸新幹線はこれで金沢まで伸びたが、これまでも東京-長野間は新幹線が通っていた。長野新幹線と呼ばれるのが普通だったが、これも北陸新幹線の一部であった。今回、北陸新幹線が金沢まで伸延したということである。新潟県を通過し、富山県を通過し、金沢まで伸びたわけである。

北陸地方では、この新幹線開通を大喜びで迎え、東京など首都圏の観光客を当て込んでいる様子である。テレビ番組では北陸の観光地やグルメを紹介するものがいくつも放送されている。迎え入れる北陸側も押しかける首都圏側も浮かれ気味で期待感だけが先行しているようである。暗いニュースが多い今の世相の中で、明るい話題の1つとして盛り上がるのは大いに結構だろうと思う。

しかし、これでまた東京一極集中が進むのではないかという懸念がある。東京から大勢の観光客が金沢や富山へ押し寄せるだろう。

所長 弁護士 岡 義博

また金沢や富山などから大都会である東京への観光客も増えるであろう。北陸から東京へ集まる人達は観光客ばかりではない。仕事を求めて東京へ行く人も増えるであろう。また就職先を東京と決めて上京する人も増えてくるだろう。都会とのパイプが太くなると、必然的に都会に人が流れることになる。北陸地方の人口流出が起こりかねない。また、企業の北陸進出も考えられる。都会からの企業進出によって、求人は増えるかもしれないが、東京の企業へ就職しようとする人も出てくるだろう。長い目で見ると、都会へ流れる人が多いのではないだろうか。

また、これまで北陸と言えば大阪から行くと言うのが普通感覚だった。大阪-金沢は在来線特急で2時間31分である。東京からの新幹線の方が若干速くいけることになった。これからは、北陸と言えば東京から行くという感覚に変わるかもしれない。北陸の人の感覚も、手近で行ける都会といえば大阪だったのが、これからは東京になるかもしれない。感覚的にも東京一極集中が進む事になるのだろうか。



法の女神・テミス

この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス (Themis ...ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します) を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、左手の剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

自動車で事故を起こした場合に、刑事事件となり処罰される場合があることは、皆さんご承知のことです。

この自動車事故による犯罪は、長い間刑法の業務上過失致死傷罪という罪で処罰されてきました。ところが、業務上過失致死傷罪の刑の上限が軽かったため、悪質な運転をして死亡事故を起こした者に対しては、刑が軽いという声が上がっていました。そこで、自動車運転過失致死傷罪という罪が刑法で別に定められることになり、刑の上限も引き上げられました。自動車による過失の致死傷事件を通常の業務上過失致死傷事件より重く処罰できるようにしたわけです。

それでも、故意犯に近いような悪質な運転、例えば酒に酔っての死亡事故については、道路交通法違反を加えても尚、刑が軽いという批判がありました。

そこで、危険運転致死傷罪という故意犯の傷害罪の一類型が刑法に定められるようになりました。危険運転致死傷罪の中には、色々

身近な法律シリーズ (48) 自動車犯罪

なものがあります。アルコールや薬物の影響で正常な運転が困難な状態で事故を起こした場合、制御が困難な高速度で事故を起こした場合、制御の技能を有しないで事故を起こした場合、他車等に著しく接近したりして、交通に重大な危険を生じさせる速度で事故を起こした場合、赤信号を無視したりして交通に重大な危険を生じさせる速度で事故を起こした場合などです。

ところが、悪質な者は、アルコールの影響を減らしたりして、重い危険運転致死傷罪の罪を免れようとする者が出てきました。また、無免許での重大な死亡事故を起こす者も現れました。そのため、アルコールの影響を免れる罪の新設や、無免許での事故の加重を求める声が多くなってきました。

そこで、新しく自動車運転により人を死傷させる行為の処罰に関する法律として自動車犯罪を一本化することになりました。一本化された法律の内容、特に罰則については次号で説明します。

高松ウオッチング

事務局 E・O

我が家に、ステンレス製の無水鍋というものがある。水をほとんど使わなくても、短時間で調理が出来るという優れもの。この鍋で調理をした、2ヶ月前の出来事。

夕食の具材を鍋に入れ、15分ほど煮込んでコンロのスイッチを切る。冬の寒い日、2時間ほど放置、鍋は冷え切っていた。

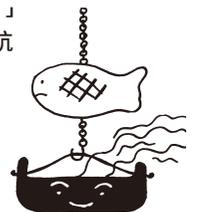
夕食の準備に取りかかろうと鍋に手をかけたが、「ん？」。蓋が開かない。「えい」ドライバーを差し込もうとするが、貝が口をつぐんでいるように、一寸の隙もない。どこかに隙間はないか？ナイフも使ってみた。隙間がないので入らない。ペンチもねじ回しも使ってみたが開かない。ゆずっても、たたいても、びくともしない。鍋の中は真空の世界。

「ただいま～」主人が帰ってきてしまった。

「あの～今夜の夕食が…」と詫言を入れ戦闘に参加してもらおう。左右に分かれ鍋と蓋を引っ張りあう。主人の力をして蓋は全く動かない。私はどこかに隙間をつくろうと鍋を金槌でたたく。ステンレス鍋は丈夫だ。びくともしない。奮闘、1時間半。「今夜の夕食、どうしよう」と落ち込む私。主人、「ちょっと、火にかけてみようよ」とコンロの上に鍋をのせた。

30秒後「ん？」かすかに隙間から、蒸気が。続いて「ぼこ、ぼこぼこぼこ！」蓋を持ち上げると、全くの無抵抗でカポッとあいた。

「やった～」と歓喜する2人。しかし、我に返った主人「何で、先に火にかけんかったんやー!!」



八十八ヶ所巡り

その12

今回は愛媛県最後の札所65番三角寺。初めてお参りしたのは夏。平石山という小高い山の中心にある。桜の老木が有名で一茶の句がある。

これでこそ 登りかひあり 山桜



行基菩薩が開いた寺とされており、後に弘法大師が訪れ三角形の護摩壇を築いて21日間護摩修行をしたと伝えられている。この護摩壇は今でも三角形の池に残っている。この三角形が寺の名前の由来である。

車でのルートは、高速の三島川之江ICを降り、国道11号線を右折する。少し走り192号線に出て右折する。右折してほんの少しでまた右折する。この右折する道は信号はあるのだが、道が狭いのでわかりにくい。何回目の巡礼の事だったか、ナビが何を考えているのかほんの少し

の所を右折せず1km以上192号線を走らされ右折させられたことがある。県道5号線である。ところがこの道が狭い。山道という感じで対向車はほとんどない。どこに行き着くのか分からないという道。結局1時間ほど細道を走って三角寺に辿り着いたが、それは通常走ってくる道の反対方向からの道だった。その後もナビはこの遠回りの細道を指示することがある。当然無視してほんの少しの所を右折することになっている。これなら10分ほどで寺に着ける。

駐車場は有料で、長い石段を上がれば境内はフラットである。先般は、新潟から車で来たというご夫妻とお会いした。2週間かけて巡礼されるとのこと。ご苦労様です。



夏空に 平石山の 鐘涼し



ちょっとひといき

事務局 K・K

娘の卒業祝いにちらし寿司を作ろうと思い立った。実は、私が嫁に来て以来、一人でちらし寿司を作った覚えがない。嫁ぎ先のちらし寿司は、5年前に亡くなった母がお盆や法事に帰省する親戚達に振る舞う特別なものだった。「姉さんのちらし寿司は上手い。」と、大阪の叔父は、母の作るちらし寿司を楽しみに帰省していた。そんな母のお寿司は、1升の米に対し、300gの砂糖を入れる超甘目のお寿司だった。私も母のちらし寿司は好きだったが、健康の事を考えて、今回は味の研究？をしてみることにした。料理本の砂糖の量を確認したところ、なんと3合に対し大さじ1杯である。私が手巻き寿司を作る時には3合に対し大さじ4杯の砂糖で作っている。大さじ1杯は、さすがに薄味すぎ。

そこで、実家の母に確認。母は、1升に対し、

220gで作っているが、地域で推奨しているのは、180gとのこと。この地域推奨の酢、砂糖、塩の加減を基に今回は作ることに決めた。

さて、肝心の主人の第一声は、「このアサリのお汁はすごくおいしい!」「えっ、お寿司は?」「...ちょっといろんなもんが足りんなあ。」と私に気遣いながら恐る恐る答えた。やっぱり、子供の頃から食べている母の味にかなわんかあ。今更、お母さんの味に嫉妬。しかし、子供達の反応は良好。よし、これから、砂糖の量は減量したままで、塩や酢の加減を調節して、私の味を作ろう!

最近、そろそろ料理をしなないといけないと気付いた娘が、私の適当料理の作り方をメモっている。たまには適当でない料理を娘に伝授したいので、母は頑張るぞっ!

外部の方からの投稿です

Oquesera, se'ra, se'ra ♪なるようになる♪

事務局 M・O

私は運動がとても苦手です。球技をすればあらぬ方向に球を放り投げ、水泳をすればいくらも進まないうちに足がつる。

ただ最近、運動不足が祟りすぐに「よっこいしょ」と言ってしまう自分に気づき、大変焦りました。そこで運動音痴な私でもただ「走る」ことくらいはできるんじゃないかと、ランニングしようと思つた。形から入るタイプなので、まず服や靴から揃えました（この時点で結構満足。）

走り始めてみると、5分もしないうちに息が上がってしまい、20分後家に辿り着く頃には、全ての力を使い果たし倒れ込んでしまいました（大げさ）。その日以来、例の服と靴はタンスの中で眠っています。

春になって気候も良くなってきたので、今度は「歩く」ことから始めてみようかなと思つている今日この頃です。

